

2014 年 3 月 15 日

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2013 年度（自 2012 年 10 月 1 日 至 2013 年 9 月 30 日）第 3 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

☐開催日時 2013 年 11 月 27 日（水）16：15～18：45

☐開催場所 ホテル日航福岡 5F 志賀の間

☐理事総数 20 名

☐監事総数 4 名

☐出席理事数 19 名

☐出席監事数 3 名

☐出席理事の氏名

北野正剛（理事長）、渡邊昌彦（副理事長）、岩中督、大貫恭正、小澤壯治、黒川良望、坂井義治、塩田充、堤治、出沢明、寺地敏郎、徳村弘実、橋爪誠、万代恭嗣、松田公志、森俊幸、森川利昭、山下裕一、若林剛

☐出席監事の氏名

大橋秀一、木村泰三、松本純夫

☐出席幹事の氏名

佐々木章

☐議長の氏名

北野正剛

☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り、北野正剛理事長より、理事会の定款所定数を満たしたので有効に成立した旨が宣され、議事が開始された。

1. 前回の理事会議事録が確認された。

2. 報告事項

1) 編集委員会報告（北野正剛編集主幹）

・日本内視鏡外科学会雑誌 編集委員会の活動報告がなされた。

- ・ASESの活動報告がなされた.

2) 総務委員会報告 (若林剛委員長)

- ・庶務報告 会員数 11,240 名 (2013 年 11 月 19 日現在)
- ・未納会費 2,894,000 円 (1,979 名) については, 多くが 2013 年度未納額であるため, 高い回収率になる見込みであることが確認された.
- ・2 年間分以上会費未納の会員 (271 名) については, 退会扱いとなるため, その前に改めて役員ヘリストを提示し, 督促等の対応を行う予定.

3) 教育委員会報告 (黒川良望委員長)

- ・本総会期間中に 2 回の教育セミナーを実施する.
- ・内視鏡下結紮・縫合手技講習会は, 2013 年度に 12 回開催し 309 名が受講した. 9 年目で 3,000 名の受講者を超え事業としても黒字化している.
- ・公認研究会として, 9 月理事会以降, 日本腹腔鏡下ヘルニア手術手技研究会が追加された.
- ・後援講習会として, 2013 年度で 80 件が認定された.
- ・用語集改訂委員会では, 日本医学会の医学用語辞典のフォーマットへ合わせるため確認作業を実施中.

4) 学術委員会報告 (山下裕一委員長)

- ・NCD データを利用した胃癌への腹腔鏡下胃切除術に関する研究について報告された.
- ・研究費見込み 400 万円のうち半額を内視鏡外科学会が負担し, 残りをがん研有明病院, 腹腔鏡下胃切除研究会とで負担することが承認された.

5) 保険委員会報告 (岩中督委員長)

- ・平成 26 年 4 月改定へ向けた新規改定要望が厚生労働省へ提出されており, 現在医療技術分科会にて審査中であることが報告された.

6) 広報委員会報告 (出沢明委員長)

- ・NewsLetter 15 号発行が報告された.
- ・ホームページのトップ写真の更新および, 英語ページの公開が報告された.
- ・9 つの団体について本学会ホームページでのお知らせやリンク掲載の許可を行った.

7) ガイドライン委員会報告 (坂井義治委員長)

- ・11 月 29 日朝に公聴会を実施し, 翌 30 日より学会ホームページで各領域ガイドラインを公開し, パブリックコメントを受け付ける予定であることが報告された.
- ・ガイドラインを特別号として製本するかどうか等について委員会にて検討を行う.

8) 第三者評価委員会 (岩中督委員長)

- ・報告事項なし

9) 倫理・渉外委員会報告（堤治委員長）

- ・裁判所鑑定人リスト作成状況が報告された。

10) COI 委員会報告（森川利昭委員長）

- ・26 回総会から COI 開示の運用が開始された。
- ・日本医学会利益相反会議にて、降圧剤に関する問題を踏まえて規程を改定予定である旨の説明のあったことが報告された。

11) 医工学連携委員会報告（森川利昭委員長）

- ・日本医工ものづくりコモンズと連携し活動を行っていることが報告された。
- ・ホームページの中に医工学連携委員会のページを開設した。
- ・総会での医工ものづくり広場の企画を引き続き継続中。

12) メディカル・チーム検討委員会報告（山下裕一委員）

- ・総会へ参加するメディカルスタッフへマニュアルを配布予定。
- ・定期的な改訂にむけ検討中であることが報告された。

13) 技術認定制度委員会報告（松田公志委員長）

- ・以下内容についてメール審議を実施し、承認された。
 - ①泌尿器科・産科婦人科の技術認定審査の新規・更新申請
 - ②消化器・一般外科領域の技術認定審査の更新申請
 - ③小児外科領域の技術認定審査の更新申請
 - ④消化器・一般外科領域の審査員の再任・交代・追加・退任の報告
- ・技術認定制度規則および施行細則の改訂について、社員総会にて審議予定。
- ・審査委員の世代交代に配慮しながら、制度を運用することが確認された。

14) E ラーニング検討委員会報告（大貫恭正委員長）

- ・11 月 28 日午前の E ラーニングに関するシンポジウムの内容が報告された。
- ・日本消化器外科学会や日本癌治療学会の事例を確認し、教育委員会と連携して対応を行う。

15) 将来構想委員会報告（寺地敏郎委員長）

- ・報告事項なし

16) ロボット支援手術検討委員会報告（橋爪誠担当理事）

- ・堀口明彦委員が新たに脾臓領域の担当委員として就任した。
- ・ロボット支援手術に関する調査の実施報告がなされ、現在は先進医療 B 申請に向けて各領域でプロトコルを作成していることが報告された。厚生労働省の意向をうけ、基幹学会である外科学会および消化器外科学会へ胃癌のプロトコルの作成について情報共有を行った。
- ・日本ロボット外科学会からのロボット支援手術の考え方に関するアンケートについて回答を行った。

17) 評議員選考委員会報告（塩田充委員長）

- ・ 98 名の新評議員が承認された.
- ・ 特別会員として 5 名の推戴者が報告された.
- ・ 2014 年の社員総会までに評議員選考の業績に関する規程を改訂する予定.
- ・ 会員資格の変更として, 1 名の評議員辞退が承認された.

18) 国際委員会報告（万代恭嗣委員長）

- ・ 国際名誉会員として 3 名の推戴者が報告された.
- ・ 日韓若手外科医フォーラムのグラント募集について報告された.

19) 専門医制度検討委員会報告（渡邊昌彦委員長）

- ・ 報告事項なし

20) 大上賞選考委員会報告（渡邊昌彦委員長）

- ・ 安藤正明氏（倉敷成人病センター産婦人科）の受賞が報告された.

21) 伊藤賞選考委員会報告（森俊幸委員長）

- ・ 藤村哲也氏（東京大学泌尿器科）の受賞が報告された.
- ・ 名称を出月賞と変更し, 賞金を 30 万円へ増額するとともに立派な盾をつけることとなり, これに合わせて内規を変更する.
- ・ 内規等に賞の由来および, 名称変更の経緯を記載すること.

22) 第 26 回総会 / カールストルツ賞選考報告（山下裕一会長）

- ・ 第 26 回総会準備状況が報告された.
- ・ カールストルツ賞受賞者
 - ①松田 正道 氏（虎の門病院消化器外科）
 - ②黒土 升蔵 氏（倉敷成人病センター婦人科）

23) 第 27 回総会報告（若林剛次期会長）

- ・ 学会ポスター, プログラム企画状況が報告された.

24) 第 28 回総会報告（松田公志次々期会長）

- ・ 2015 年 12 月 10 日（木）～12 日（土）, 大阪国際会議場およびリーガロイヤルホテルで最大 24 会場にて企画中であることが報告された.
- ・ 大阪腎臓バンクの共催および総会副会長の名称について, 慣例と異なるため, 引き続き検討事項とすることとした.

25) 第 29 回総会報告（渡邊昌彦次々々期会長）

- ・ 2016 年 12 月 8 日（木）～10 日（土）, パシフィコ横浜にて開催することが報告された.

26) 日本医学会等報告（北野正剛理事長）

- ・日本医学会が日本医師会より 2014 年 4 月に独立する予定で、定款案が示された
- ・会員数に比した金額を分担金として拠出する予定.
- ・糖尿病に対する外科手術に関して、糖尿病学会と連携することへ理事の賛同が得られ、若林剛理事が担当理事として指名された.
- ・委員会メンバーについては、NCD や外科学会との連携も考慮し、また、肥満外科の医師も加えて構成することとされた.
- ・ロボット支援手術に関する日本産科婦人科学会からの要望書について検討がなされ、要望には配慮をすることとなり、ロボット支援手術検討委員会、技術認定制度委員会、教育委員会にて検討をし、年内に塩田充理事にて取りまとめを行った上で、書面にて返答することとなった.
- 婦人科悪性腫瘍に対するロボット支援手術に関する指針は、トレーニング時間や経験症例数等について関連領域の基準と齟齬があるので、その点をご討議いただくように要請する.
- 日本産科婦人科学会からの要望の根拠となる国内や米国の実情を踏まえた安全性に関するデータを提示してもらう必要がある.
- 腹腔鏡で婦人科の悪性腫瘍を手術する際は、婦人科の技術認定取得者が担当しており、整合性が取れないのではないかと、米国でもダヴィンチの普及率は低く、先進医療で婦人科悪性腫瘍手術を実施している状況では、要望に沿うのは適切ではなく、今一度婦人科の中でよく議論してもらいたい.
- 提言は厚生労働省も認識しているものなので、慎重に対処することが確認された.

3. 審議事項

1) 財務委員会（小澤壯治委員長）

- ・学術集会会計を一般会計へ組み入れると分かりにくいと、今後は特別会計として管理することが報告された.
- ・2013 年度決算報告の詳細が説明され承認された.
- ・監査報告がなされ適正かつ妥当であることが報告された.
- ・学術集会での収益事業課税を勘案すると、納税額も含めて収支を黒字にするには 1,000 万円より多く学会へ戻す必要があるが、会長の負担が多いことから、収支で足りない場合は学会から拠出する方針が確認された.
- ・2014 年度予算案が報告され承認された.

2) 規約委員会（徳村弘実委員長）

- ・定款の変更が報告され承認された.
- 2014 年総会中に開催される社員総会を臨時社員総会とし、別途、決算承認のための定時社員総会を開催する.
- 2014 年総会中に開催される社員総会への出席を評議員の資格要件とする.
- ・社員総会の運営規則の改定案が報告され承認された.
- 代理人が出席をした場合は、評議員の資格要件としては欠席扱いとする.
- ・委員会規則の改定案が示され承認された.

- 委員会規則の例が示され、各委員会にて検討することとなった.
- すでに規則がある委員会については、既存規則が優先される.

以上

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2013 年度（自 2012 年 10 月 1 日 至 2013 年 9 月 30 日）第 1 回社員総会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

☐開催日時 2013 年 11 月 28 日（水）16：45～18：15

☐開催場所 福岡国際会議場（福岡）

☐理事総数 20 名

☐監事総数 4 名

☐出席理事数 17 名

☐出席監事数 3 名

☐出席理事の氏名

北野正剛，岩中 督，大貫恭正，小澤壯治，黒川良望，坂井義治，塩田 充，出沢 明，
寺地敏郎，徳村弘実，橋爪 誠，万代恭嗣，森 俊幸，森川利昭，山下裕一，若林 剛，
渡邊昌彦

☐出席監事の氏名

木村泰三，馬場志郎，松本純夫

☐出席名誉顧問の氏名

北島政樹

☐議長の氏名

山下裕一

☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り山下裕一会長は議長席につき総会の開催を宣した。

続いて議長は，議事に入った。議事の経過の要領及びその結果については，前日に行われた理事会における報告事項及び審議事項における内容が変更・修正なく承認されたので，理事会議事録において各々対応する事項の記載をもって，省略する。

議事の最後に，以下の名誉会員・特別会員の推戴状授与式が行われた。

<名誉会員>

炭山 嘉伸 東邦大学

<名誉会員>

小西 文雄 練馬光が丘病院 外科

馬場 志郎 北里研究所

松本 純夫 東京医療センター

以上，社員総会の議事の経過並びに結果が正確であることを証するために，議事録を作成し議長がこれに記名押印する．

(以下略)

以上